（別記）

令和８年度石狩市農業再生協議会（浜益）水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

石狩市浜益地域の農業は、稲作を主体とし、施設園芸、果樹、肉用牛を取り入れた複合経営を柱に、地域の実態に即した適地適作を進め、生産の安定を図っている。

しかしながら、経営面積は狭少であり、就農者の減少や後継者不足、農業経営者の高齢化が今後さらに深刻化することが懸念されている。

水田面積については、農地の約７４．０％を占め、稲作は、基幹作目としての重要な地位を占めている。転作については、牧草等の飼料作物が多くを占めているが、他の作物については生産性が低く、水稲に代わる作物の作付けが当地域農業の中に定着している段階には至っていない現状にある。

このようなことから、特に当地域のような零細規模の稲作については、これまで以上に「おいしくて売れる米づくり」を一層推進するとともに、当地域農業の発展や活性化を図るうえで優れた担い手の確保や法人化の育成が重要な課題である。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

水稲における水張面積については、主食用米の「生産の目安」を遵守しながら飼料用米等の取組支援を継続する。また、省力化技術等の導入により収益性の高い小麦の作付拡大を推進する。気象環境の変化に対応した生産基盤の確立による安定した農家所得を確保するためには、品質・単収の低下を招く圃場の継続的な土壌診断による土壌改良が必要となる。

今後は、次代を担う後継者の育成をはじめ経営規模拡大とそれを後押しする省力化技術導入等サポート体制を強化し、取組みへの誘導により生産維持と収益性の高い農業を目指す。

高収益作物については、野菜等の作付面積が 2.5ha しかないが、現状を維持しながら消費者ニーズに対応すべく地域に適応した栽培技術、省力・低コスト生産技術の導入、有利販売の活用などの取組みによる需要に対応できる生産体制づくりを進める。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当地域においては個々の経営面積が狭く、高齢化により労力も厳しいことから、離農時の対応として農地を維持するためには今後数少ない担い手の集積などにより水田を維持し、良質の米作りを推進する。

水田有効利用については、主食用米、飼料用米、備蓄米、麦を中心としたブロックローテーションの確立を目指し、牧草作付地等については、水稲（水張り）作付に活用できる水田、もしくは畑地化支援を活用した畑地化する水田の現地検証を踏まえ、作付農家の意向を把握し、地域の実情に沿った取組みを検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

高品質米１００％で売れる米づくりを目指す。

（２）備蓄米
　　水稲作付面積の維持・確保に向けて生産振興する。

（３）非主食用米
　ア　飼料用米
　　作付け予定無し。

　イ　米粉用米
　　作付け予定無し。

　ウ　新市場開拓用米
　　作付け予定無し。

　エ　WCS 用稲
　　作付け予定無し。

　オ　加工用米
　　生産性向上の取組を推進するとともに、需用に応じた米の生産・販売を促進する。

（４）麦、大豆、飼料作物
　　分散化した農地の連坦化が円滑に進むよう農地集積を促進し、生産性向上のため団地化を推進する。
　　麦：高品質生産を目指し、地域の実態に応じた品種作付、マルチローターを利用した早期防除の実践、品質確保に向けた生産技術等の普及推進を図る。
　　飼料作物：有畜農家と提携し飼料作物の確保を目指す。
　　大豆：作付け予定無し。

（５）そば、なたね
　　作付け予定無し。

（６）地力増進作物
　　作付け予定無し。

（７）高収益作物
　　アスパラガス・ピーマン・ささげ：現状の作付を維持しながら、適期防除の実践、適期播種、適期収穫など基本技術の励行に取組み、有利販売の活用等による農業所得向上を目指す。
　　メロン・ばれいしょ・かぼちゃ・いちご・花き：地域の実情や需要動向に応じた品種を選定し高品質生産を目指す。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位：ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	274.6		275.6		275.6	
備蓄米	0.0		0.0		0.0	
飼料用米	3.7		0.0		0.0	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		0.0	
WCS用稲	0.0		0.0		0.0	
加工用米	15.8		20.4		20.4	
麦	0.3		3.0		3.0	
大豆	0.0		0.0		0.0	
飼料作物	55.0		51.2		51.2	
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
そば	0.0		0.0		0.0	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	0.0		0.0		0.0	
高収益作物	1.9		1.9		1.9	
・野菜	1.4		1.4		1.4	
・花き・花木	0.5		0.5		0.5	
・果樹	0.0		0.0		0.0	
・その他の高収益作物	0.0		0.0		0.0	
その他	0.0		0.0		0.0	
・〇〇	0.0		0.0		0.0	
畑地化	0.0		0.0		0.0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦、飼料作物	団地化加算	作付面積	（７年度）55.5ha	（８年度）48.3ha
			取組面積	（７年度）29.7ha	（８年度）27.0ha
			団地化比率	（７年度）53.5%	（８年度）55.9%
2	小麦、飼料作物	農地集積加算	作付面積	（７年度）55.5ha	（８年度）48.3ha
			取組面積	（７年度）14.3ha	（８年度）14.3ha
			牧草単収	（７年度）520kg/10a	（８年度）520kg/10a
3	アスパラガス、メロン、ピーマン、ささげ、さやいんげん、花き（別紙）、ばれいしょ（生食・加工）、野菜（別紙）	地域振興作物助成	作付面積	（７年度）1.9ha	（８年度）1.9ha
			取組面積	（７年度）1.9ha	（８年度）1.9ha
			ばれいしょ単収	（７年度）2200kg/10a	（８年度）2700kg/10a
			直売販売額	（７年度）428,000円	（８年度）500,000円
4	加工用米	加工用米作付助成	作付面積	（７年度）	（８年度）20.4ha
			作付数量	（７年度）	（８年度）112ｔ

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：石狩市農業再生協議会浜益水田部会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	団地化加算	1	16,000	小麦、飼料作物	団地化要件は1団地が3ha以上の面積で、2団地以上の取組の場合は、1団地の面積は1．5ha以上の取組とする。
2	農地集積加算	1	25,000	小麦、飼料作物	次の取組のうち、2つ以上取り組むこと。 ①融雪剤散布による早期圃場の整備 ②作物の品質向上のための追肥等の実施 ③土壌分析結果に基づく施肥 ④発生予察情報に基づく適期防除及び肥培管理による除草回数減による農薬の低減化 ⑤団地化（1団地が3ha以上の面積で、2団地以上の取組の場合は、1団地の面積は1．5ha以上の取組とする。） ⑥直接販売(直売所：麦は除く) ⑦優良品種・新種の導入
3	地域振興作物助成	1	40,000	アスパラガス、メロン、ピーマン、ささげ、さやいんげん、花き（別紙）、ばれいしょ（生食・加工）、野菜（別紙）	次の取組のうち、2つ以上取り組むこと。 ①融雪剤散布による圃場の整備 ②作物の品質向上のための追肥等の実施 ③土壌分析結果に基づく施肥 ④発生予察情報に基づく適期防除及び肥培管理による除草回数減による農薬の低減化 ⑤直接販売(直売所) ⑥優良品種・新種の導入
4	加工用米作付助成	1	6,000	加工用米	次の取組みのうち、2つ以上取り組むこと。 ①種子消毒の実施（温湯消毒） ②土壌分析、生育診断を踏まえた施肥 ③病害虫発生予察情報を基にして適期に病害虫防除を実施 ④明暗渠排水の整備、心土破砕、穿孔排水による透・排水性の改善 ⑤融雪剤散布、収穫後の溝切りによるほ場の乾燥化 ⑥生産工程管理記帳の取組を実施 ⑦「YES！clean表示制度」等の環境に配慮した生産を実施（有機JAS、特別栽培農産物を含む）

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。